

## ❀ 「文化財保存修復研究基金」へのご寄附のお願い

奈良文化財研究所は、主に平城宮跡や飛鳥・藤原宮跡等の都城遺跡の発掘調査研究を通して、日本の古代国家誕生の歴史と日本文化の形成過程の解明に努めています。さらに、長年にわたる都城遺跡の調査研究で培った知識や技術を、全国の遺跡の調査研究と保存、整備活用に役立てるとともに、海外の遺跡保護のための国際協力事業や技術移転にも積極的に取り組んでおり、その活動には、国内外から大きな期待が寄せられています。

こうした奈文研の調査研究業務は、国からの運営費交付金によって支えられていますが、昨今の厳しい財政状況下で、運営費交付金が減額の一途をたどっており、広く外部資金を獲得して、研究所の運営に役立てることが求められていることから、「文化財保存修復研究基金」を創設し、皆様に広くご寄附をお願いすることにいたしました。

寄附金については、通常の奈文研の調査研究業務のほかに、以下の事業に重点的に活用いたします。

- ① 被災文化財の救出と保存修復事業
- ② 国際協力事業（カンボジアのアンコール遺跡群西トップ寺院の修復事業等）
- ③ 埋蔵文化財の発掘調査報告書の全文電子化と公開事業（『全国遺跡報告総覧』の整備）
- ④ 木簡の水洗作業と保存処理事業
- ⑤ 発掘された遺跡の地震・火山災害に関する情報収集とデータベースの構築・公開事業

なお、寄附の方法、その他詳細につきましては、奈文研ホームページをご覧ください。

皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

（研究支援推進部 津田 保行）

